

【オプスミット錠 10mg の相互作用】

2017 年 4 月作成

オプスミット錠 10mg の添付文書の使用上の注意 3. 相互作用の 2) 併用注意（併用に注意すること）に記載されている薬剤は代表的な薬剤を記載しております。平成 26 年 7 月 8 日の事務連絡により公表されております「医薬品開発と適正な情報提供のための薬物相互作用ガイドライン（最終版）」に記載されております P450 酵素の *in vivo* 阻害薬・誘導薬の例より、CYP3A 関連部分を抜粋して紹介致しますので、薬剤を併用する際にご参照いただきますよう宜しくお願い致します（青枠部分）。

表 7-1 P450 酵素の *in vivo* 阻害薬の例

P450 分子種	強い阻害薬 相互作用を受けやすい基質薬の AUC が 5 倍以上に上昇 (CL/F が 1/5 未満に減少)
CYP3A	cobicistat, indinavir, itraconazole, ritonavir, telaprevir, voriconazole, (conivaptan), (ketoconazole), (posaconazole) (troleandomycin) <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> clarithromycin, grapefruit juice, nelfinavir, saquinavir, (boceprevir), (nefazodone)

- ① CYP3A の強い阻害薬の表中、点線より上の薬物は相互作用を受けやすい基質薬の AUC を 10 倍以上に上昇 (CL/F が 1/10 未満に減少) させることが報告されている。
- ② カッコ内の薬物は本邦未承認 (ketoconazole: 経口剤、注射剤は未承認)
- ③ 表中の薬物は、薬物相互作用データベース (<http://www.druginteractioninfo.org/>) 及びその根拠となった論文における指標薬との臨床相互作用試験データに基づき、また当該薬物の添付文書等も確認のうえ分類を行い、例示するものである。なお、外用薬及び医療用配合剤は記載していない。
- ④ Grapefruit juice による作用は濃度、用量及び製品に左右される。

表 7-2 P450 酵素の *in vivo* 誘導薬の例

P450 分子種	強い誘導薬 相互作用を受けやすい基質薬の AUC が 1/5 以下に減少 (CL/F が 5 倍より大きく上昇) (AUC の減少が 80% 以下)	中程度の誘導薬 相互作用を受けやすい基質薬の AUC が 1/2 以下 1/5 より大きく減少 (CL/F が 2 倍以上、5 倍未満に上昇) (AUC の減少が 50-80%)	弱い誘導薬 相互作用を受けやすい基質薬の AUC が 1/1.25 以下 1/2 より大きく減少 (CL/F が 1.25 倍以上、2 倍未満に上昇) (AUC の減少が 20-50%)
CYP3A	carbamazepine, phenobarbital, phenytoin, rifabutin, rifampicin, St.John's wort	bosentan, efavirenz, etravirine, modafinil	rufinamide, (armodafinil)

- ① カッコ内の薬物は本邦未承認
- ② 表中の薬物は、薬物相互作用データベース (<http://www.druginteractioninfo.org/>) 及びその根拠となった論文における指標薬との臨床相互作用試験データに基づき、また当該薬物の添付文書等も確認のうえ分類を行い、例示するものである。なお、外用薬及び医療用配合剤は記載していない。
- ③ St.John's wort による作用は濃度、用量及び製品に左右される。
- ④ **赤枠は併用禁忌薬剤(併用しないこと)**